

令和3年度第1回 富秋中学校区等まちづくり検討会議 議事概要

1. 日 時：令和3年7月10日（土）9：00～11：00

2. 場所：和泉市 人権文化センター 大会議室

3. 出席者：委員 18名
和泉市職員 23名
コンサルタント 7名

4. 議事次第

- (1) 委員の交代等について
- (2) 今後の検討の進め方について
- (3) 各プロジェクトの状況について【市営住宅・多世代交流拠点施設】
- (4) 各プロジェクトの状況について【学校】
- (5) 各プロジェクトの状況について【公園】
- (6) 各プロジェクトの状況について【跡地活用】

5. 議事概要

■委員の交代等について

※以下、特記無き場合委員の発言

○森事務局長より委員の交代等についてご報告

⇒各委員の交代について確認した

⇒新会長を松下氏とし、向井氏を顧問とすることについて委員の了承を得た

⇒副会長を1名とすること、藤田氏を北村氏の後任として幹事とすることについて委員の了承を得た

⇒上記に係る規約変更について委員の了承を得た。

■今後の検討の進め方について

○市浦より資料説明 資料【ここまでと今後の進め方について】

■各プロジェクトの状況について【市営住宅】

○市浦より資料説明 資料【市営住宅の建替えに関する入居者説明会 主な意見】【和泉市営住宅入居者アンケート調査について】【まちづくりニュース】

○市より資料説明 資料【<第4回市営住宅プロジェクト委員会（7/1）資料 部分抜粋>】

※意見交換は、最後にまとめて実施

■各プロジェクトの状況について【多世代交流拠点施設】

○市浦より資料説明 資料【まちづくりニュース（第1回富まちミーティングの報告）】【多世代交流拠

点施設に関する市の方向性（イメージ）】

※意見交換は、最後にまとめて実施

■各プロジェクトの状況について【学校】

○市より開校準備委員会の設置について説明

⇒開校準備委員会に出席する検討会議委員を決定した

○坂倉建築研究所より資料説明 資料【ミライの学校を創るプロジェクト】

※意見は、意見用紙に記入し、会議終了後に事務局へ提出

■各プロジェクトの状況について【公園】

○ヘッズより資料説明 資料【公園についての報告】

※意見交換は、最後にまとめて実施

■各プロジェクトの状況について【跡地活用】

○市より事業スケジュールについて資料説明 資料【今後のまちづくりの想定スケジュールについて】

○市浦より資料説明 資料【跡地について】

※意見交換は、最後にまとめて実施

■意見交換

- ・施設一体型義務教育学校の設置後、小学校が元々有していた機能はどうなるのか。例えば、指定避難所の機能。施設一体型義務教育学校が指定避難所になるのだと思うが、現在よりも避難場所が遠くなる人もいる。こういった対応を想定しているのか。
- ・市民に文化活動の場を提供する機能として市民文化ホールがあるが、この機能の取扱いについてこれまで議論されてないように思う。多世代交流拠点施設に移設するのか。また、にじのとしょかんはどうなるのか。加えて、富秋中学校にある講堂はどうなるのか。講堂も一つの市民会館としての役割を担っていると思う。これらは文化活動の場である。いまいちど、和泉市北部地域の文化交流のあり方をどうするか、現在の利用者に対するアプローチを検討してほしい。
- ・【跡地活用の方向性（素案）】に、「北部総合福祉会館移設後」とある。跡地に市民体育館ができるのであれば、地域も活気づくだろう。ただ、市民体育館はどんなものになるのか。例えば、市内にはスポーツの公式戦ができるような体育館は少ないので、公式戦ができるものになるとよい。まだ計画が決まっていないと思うが、魅力を向上させるようなものになるとよい。
- ・施設一体型義務教育学校は、環境にやさしい学校になってほしい。太陽光発電や雨水利用など。また、富秋中学校にはメタセコイアがあるが、樹木は中木くらいが管理しやすいだろう。

- 市民体育館整備の話はこれまでの検討会議で出てこなかった話題である。地域にとっても良いと思うこと、そうでないこと様々あると思う。市民体育館整備について現時点で考えていることがあれば市からの情報提供をお願いしたい。また、市民体育館を整備することによる、地域のメリット・デメリットについては示してほしい。
- 防災の観点でいくと、施設一体型義務教育学校が指定避難所になると、例えば幸校区からの避難は踏切をわたることになるので不便に感じると思う。これに対して池上小跡地には広場、幸小跡地の横の幸団地跡地が都市公園となりそれぞれ防災機能を持つと思うが、これに加えて、市民体育館が避難機能を担うことも考えられると思う。
- 市民体育館については、市長はアリーナ構想を掲げている。もし、アリーナとするなら、客席もできるので、文化ホールのような使い方もできるのではないかと考えている。すぐには答えがでないと思うが、体育館ができることでの可能性を検討してもらいたい。

⇒市民体育館は現時点では移転候補地となっただけであり、機能などの詳しい計画はまだ一切決まっていない。また、現在想定している市営住宅や都市公園など様々な事業の後に整備することとなるため、今回のPFI事業にも含む想定はしていない。

市民体育館は和泉市全域の施設となる。光明池にコミュニティ体育館があり、中部・南部の体育施設機能を担っている。移転先として決まれば、北部の体育施設としての役割を担うことになるだろう。いずれにせよ、まだ具体的なことは決まっておらず、まちづくり構想で示しているところでいう令和11年以降の計画（北部総合福祉会館や診療所をどうするのか等）については未確定であるため、今後、内容を検討していきたい。（市）

⇒市民文化ホールについては、「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」においても示したとおり、和泉市としては、1,000人以上を収容する規模の施設の利用頻度が低く、維持管理に多額の費用が必要になることから、新たに整備はしないこととしている。（市）

⇒避難場所については、施設一体型義務教育学校が指定避難所となる予定である。ただし、池上小跡地には広場、幸小には近接する都市公園にそれぞれ防災機能を備える予定である。また、北部総合福祉会館については現在、福祉避難場所に指定されている。したがって、避難所のための新たな施設を整備する予定はない。（市）

■その他

○次回は9～10月を予定しているので、また近づいたところに連絡する。

以上